

Title: 「明日は明日の風が吹く」



志村 賢一
1987年生まれです。
いつも失敗ばかりし
ている私ですが、海
外でもたくさん失敗
して行きたいと思
います。

● 最近のエントリー

☑ 完全になめてたエベレストへ
の道
(2009.08.16)

● アーカイブ

☑ 2010年03月
☑ 2010年02月
☑ 2009年09月
☑ 2009年08月
☑ 2009年07月
☑ 2009年06月
☑ 2009年05月
☑ 2009年04月
☑ 2009年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

明日は明日の風が吹く > 2009年08月 アーカイブ

09.08.16

完全になめてたエベレストへの道

[Tweet](#)[Check](#)

ずっとブログを更新しなくて、すみませんでした。これから徐々に更新して行きます。

7月中旬、インド滞在の後、ネパールではエベレストの麓の街、ナムチェバザールに行ってきました。

なぜそこに行ったかという、ただ単に、この目で世界一高い山エベレストを見たいと思ったから。

やっぱり何でも自分の目で直接見てみたいじゃないですか。

ナムチェにはネパールの首都カトマンズから飛行機でルクラという所まで行きます。そこからナムチェまでは徒歩です。

僕はその徒歩の行程を完全になめていました。

東京で計画していた頃、『ルクラ～ナムチェまで距離にして15kmぐらい、二日かけて行くからそんなにたいした距離じゃないだろう。標高差はルクラが2800m、ナムチェが3400m、600mだいたい高尾山一個分ぐらいだから楽勝だろう』と思っていた訳です。

ですが実際に歩いてみるとめちゃくちゃ辛い。
何がきつって、まず空気が薄い。そのため息が切れる。耳がおかしい。
最後に襲って来たのは下痢と吐き気。
高山病にボコボコにされました。

ナムチェまで荷物持ちのポーターを雇って彼にほぼ全部の荷物を持って貰ったのですが、それでも歩くのはしんどい。

やっぱり普段から鍛えておくべきだったなと思って後の祭り。
もう歩き出した以上行くしかないのです。

何とか一日目は無事に中間の目的地に到着。



本当に大変だったのは2日目。

二日目の朝、早朝6時、ポーターの彼に『今日ほどのくらい歩けば着く?』と聞くと『May be 2時間半、すぐ着くね。』

『2時間半かぁ、今日は余裕だな』とバカだから思ってしまったんですね。

しかし、その2時間半がずっとより。

最悪。

標高差600mが一気に襲いかかって来る。

登っている最中は高校の体力測定1500m走を永遠に繰り返しているかのごとく、息が切れ。

おまけに徐々に意識が遠いて行く感じ。

この状態を乗り越えた状態がクライマーズハイと言うのですが、その時の僕はクライマーズハイなんて考えられない状態。

僕には一生クライマーズハイなんて来ないでしょう。

だって、『なんなんだよこの道は』と文句ばかり言っていますから。

ようやく着いたナムチェの街に感動する事もなく、ただ早くホテルで休ませると本気で思ったナムチェへの道のりです。

カテゴリ:

post by 志村 賢一 | 日時: 2009.08.16 | [バナーリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)